



(行政視察)・政務活動・議員研修) 報告書

平成30年11月30日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 佐藤 聡一

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成30年11月15日(木)～16日(金)
調査・研修先	富山県魚津市、富山市
調査事項 (研修事項)	①インバウンドの取組みについて(魚津市) ②セーフ&環境スマートモデル街区整備事業(富山市)
対応者・講師等	①魚津市産業建設部商工観光課観光係 係長 高森哲也氏 ②富山市環境部環境政策課 竹田法信氏
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>① インバウンドの取組みについて</p> <p>魚津市は宿泊施設や飲食店が多く、観光へ時組むインフラが整っている。富山空港への直行便があり、訪れる観光客が最も多いのが台湾であり、県の業務を委託されている業者が台湾事務所を設立し事業を展開している。そこでターゲットを台湾へ絞った「台湾インバウンド実行委員会」を平成28年に設立した</p> <p>台湾へのプロモーション自体は平成27年より始まっており、台湾現地で台湾国際旅行博への出展や旅行業者等へのPRを市長や観光協会、ホテル関係者が出向き、約一週間にわたり行った。また台湾からの旅行業者26社の視察団、33名を受け入れた。平成28年にはさらに本格化し、ワーキングホリデーとして台湾人の受け入れを始め、市役所の地域協働課へ勤務してもらい、SNSを活用したPRを発信している。また台湾でのPR活動もさらに行うとともに、台湾のメディア関係者を招へいし、お祭りや花火、漆芸塗り、かまぼこ作り等の体験、酒蔵の見学等をしてもらい、台湾の新聞やネットへの記事掲載、台湾地下鉄での広告掲載を行った。</p> <p>平成29年には受け入れ態勢の整備を行い、観光地での音声ガイドシステムの導入、外国語指さしシートを作成するとともに</p>



に台湾でのプロモーションを夏と秋に行い、ビジットジャパン事業を活用し近隣の市町村や観光地と連携して、さらにメディアの招へいを行った。

結果として外国人の宿泊者は、平成27年の4,368人から平成29年は7,308人へ増加している。今後は台湾以外も対象としたインバウンドへの取り組み、SNSを活用した情報発信、おもてなし強化へのセミナー・後援会の開催、他市町村と連携した広域での事業の嫉視を進めていくとのことである。

## ②セーフ&環境スマートモデル街区整備事業（富山市）

富山市では環境未来都市計画で、「公共交通を軸とした拠点手中型のコンパクトなまちづくりの実現」「地域生活圏ごとの魅力や質を高めるまちづくり・医療・健康・福祉を支える地域包括ケアシステムの構築」「再生可能エネルギーの導入・活用など、足腰の強い産業構造の実現」「環境先進都市のブランド化の推進、取組みの国内外への普及展開を通じた持続可能な経済社会構造のモデル化」を目指すべき将来ビジョンとし、その取り組みの一つとして、セーフ&環境スマートモデル街区整備事業を実施している。

セーフ&環境スマートモデル街区は低炭素・省エネルギーに配慮した環境に優しく、公共交通沿線で利便性が高く、安全・安心で快適な生活を享受できるモデル街区を整備し、質の高い住宅供給の促進を目的としている。

モデル街区は駅から900mほどで、バス停も近くにあり、小学校も近くに立地している。再生可能エネルギーの活用では、太陽光発電設備や省エネの推進し、住宅地で創出したエネルギー量のみで消費エネルギーをすべて賄える街の実現を目標としている。

